

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 07261776 A

(43) Date of publication of application: 13.10.95

(51) Int. Cl

G10K 15/04

G11B 27/34

H04N 7/173

(21) Application number: 06053930

(22) Date of filing: 24.03.94

(71) Applicant: BROTHER IND LTD
EKUSHINGU:KK

(72) Inventor: NISHIMURA OSAMU
IGAMI KAZUNORI
HASEGAWA YUKIE

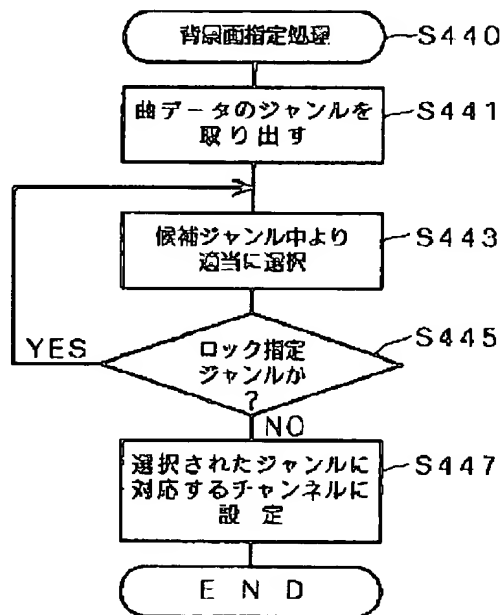
(54) VIDEO REPRODUCING DEVICE

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide a video reproducing device in which reproducing video can individually be prohibited in a set genre and only video suitable for request of an user is reproduced.

CONSTITUTION: When a genre prohibited to reproduce is specified by operating a lock key, a decision key and the like, a state column in a lock setting table is set to lock for the prohibited genre. In processing for specifying a background picture, a genre corresponding to music data is taken out (S441), and a genre is adequately selected out of proposed genres (S443). And it is judged whether the genre is a genre specified to lock or not (S445), when it is set in a lock state, selection is performed again. And when it is not in a lock state, it is set to a channel corresponding to the selected genre. Thus, even if it is a genre which is set corresponding to music, since a genre set in a lock state is not selected as a background picture, video of the prohibited genre cannot be reproduced.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO



Best Available Copy

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-261776

(43) 公開日 平成7年(1995)10月13日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 1 0 K 15/04				
G 1 1 B 27/34	P	8224-5D		
H 0 4 N 7/173		8224-5D	G 1 1 B 27/ 34	P

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平6-53930

(22) 出願日 平成6年(1994)3月24日

(71) 出願人 000005267

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

(71) 出願人 593118601

株式会社エクシング

愛知県名古屋市昭和区桜山町6丁目104番地

(72) 発明者 西村 修

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

ブラザー工業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 足立 勉

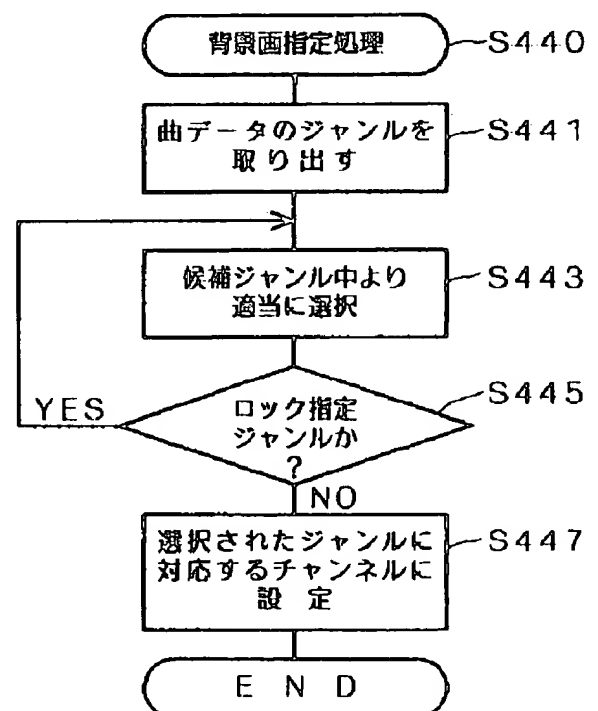
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 映像再生装置

(57) 【要約】

【目的】 設定されているジャンルの内で個別に再生を禁止できるようにし、使用者の要求にあった映像だけを再生するようにした映像再生装置を提供する。

【構成】 ロックキー、確定キー等を操作して再生を禁止するジャンルを指定すると、その禁止ジャンルについては、ロック設定テーブル中の状態欄がロックに設定される。背景画指定処理においては、曲データに対応するジャンルを取り出し(S441)、その候補ジャンルの中から適当にジャンルを選択する(S443)。そして、ロック指定ジャンルであるか否かを判断し(S445)、ロック状態に設定されていれば再度選択し直す。そしてロック状態でない場合には、その選択されたジャンルに対応するチャンネルに設定する。このように、曲に対応して設定されているジャンルであっても、ロック状態に設定されているものについては、背景画として選択しないため、その禁止ジャンルの映像は再生されることがない。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ジャンルの設定された映像を再生する映像再生手段と、

曲毎に対応して設定された1つ以上のジャンルを記憶しておく対応ジャンル記憶手段と、

該対応ジャンル記憶手段に記憶されているジャンル情報に基づき、選択された曲に対応する再生ジャンルを決定する再生ジャンル決定手段と、

該再生ジャンル決定手段によって決定された再生ジャンルによる映像再生を、上記映像再生手段に指令する再生制御手段とを備えた映像再生装置であって、

再生を禁止するジャンルを指定するための禁止ジャンル指定手段と、

該禁止ジャンル指定手段によって指定された禁止ジャンルについては、上記再生ジャンル決定手段における再生ジャンルとしての決定を禁止するロック手段とを備えたことを特徴とする映像再生装置。

【請求項2】 上記請求項1に記載の映像再生装置において、

上記ロック手段は、上記禁止ジャンル指定手段によって指定された禁止ジャンルであるか否かの情報を、ジャンル毎に記憶しておく禁止ジャンル情報記憶手段を備え、その禁止ジャンル情報に基づき、禁止ジャンルである場合には、上記再生ジャンル決定のための選択候補から除外することを特徴とする映像再生装置。

【請求項3】 中央制御装置と複数の映像再生端末装置とが伝送回線にて接続され、上記各映像再生端末装置は、上記中央制御装置に対して曲をリクエストするリクエスト手段と、上記中央制御装置から送信された映像を再生する映像再生手段とを備えることによって、上記各映像再生端末装置でリクエストに応じた所望の映像を再生可能な集中管理式の映像再生装置において、

上記各映像再生端末装置は、

再生を禁止するジャンルを指定するための禁止ジャンル指定手段と、

該禁止ジャンル指定手段によって指定された禁止ジャンル情報を上記中央制御装置側に送信する禁止ジャンル情報送信手段とを備え、

上記中央制御装置は、

曲毎に対応して設定された1つ以上のジャンルを記憶しておく対応ジャンル記憶手段と、

上記禁止ジャンル情報送信手段によって送信された禁止ジャンル情報を各映像再生端末装置に対応して記憶しておく禁止ジャンル情報記憶手段と、

上記対応ジャンル記憶手段に記憶されているジャンル情報及び上記禁止ジャンル情報記憶手段に記憶された禁止ジャンル情報に基づき、禁止ジャンルでない選択候補の中から上記リクエストされた曲に対応する再生ジャンルを決定する再生ジャンル決定手段と、

該決定された再生ジャンルの映像データを、上記リクエ

ストのあった映像再生端末装置に送信する送信手段とを備えたことを特徴とする映像再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、例えばカラオケシステムの背景映像等を再生する映像再生装置であって、例えばリクエストに応じた所望の映像を再生可能な映像再生装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、例えば映像カラオケ装置においては、曲毎に映像データと歌詞の内容及び演奏データを記憶したビデオディスク等を再生していたが、業務用などでは装置1台 당りに数千曲ものデータが必要となるため、非常に多くのビデオディスクを用意する必要があった。そして、これら多数枚のビデオディスクを専用の収納ケースに収納し、オートチェンジャ等を用いてリクエストに応じたディスクに交換していた。そのため、多くのディスクを収納する専用収納ケース及びオートチェンジャが占有する面積が大きくなり、特に業務用としてはコンパクト化が希求されていた。

【0003】 このコンパクト化の一案として実現されているのが、曲データとは別個に映像データを記憶させておき、曲の演奏時に、背景画として表示するものである。この背景画となる映像データはビデオディスクに収められることが多いが、例えば1枚に、演歌のための映像データとポップスのための映像データとの2種類の映像データが収められているのが一般的である。

【0004】 そして、演歌とポップスというジャンルの大分類だけでなく、演歌の中でもその映像内容によってさらなるジャンル分けがされることが多い。細かくジャンル分けすることで、より曲のイメージ（内容）に対応した最適な映像を表示することができるし、あるいはいつも同じ映像ばかりでは飽きてしまう可能性もあるので、曲に適する複数の映像を組み合わせることで、背景画のバリエーションを増やし、飽きさせないようにすることにも有効である。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、その映像が流される場の雰囲気とそぐわない映像や、対象となる人によっては見せるべきでない映像というものもある。例えば、結婚パーティー等で、「別れ」がテーマになって展開するようなジャンルの映像は出さない方がよいし、例えばいわゆるアダルト映像に属するジャンルの映像については子供が見ているような状況においては出さない方がよい。このように、各種状況に応じては、その場の雰囲気を壊さないため等の理由で表示しない方が好ましい映像というものがある。

【0006】 そこで本発明は、このような問題点を鑑み、設定されているジャンルの内で個別に再生を禁止することができるようにし、使用者の要求にあった映像だ

けを再生するようにした映像再生装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために成された請求項1に記載の発明は、図1の基本構成図に示すように、ジャンルの設定された映像を再生する映像再生手段M1と、曲毎に対応して設定された1つ以上のジャンルを記憶しておく対応ジャンル記憶手段M2と、該対応ジャンル記憶手段M2に記憶されているジャンル情報に基づき、選択された曲に対応する再生ジャンルを決定する再生ジャンル決定手段M3と、該再生ジャンル決定手段M3によって決定された再生ジャンルによる映像再生を、上記映像再生手段M1に指令する再生制御手段M4とを備えた映像再生装置であって、再生を禁止するジャンルを指定するための禁止ジャンル指定手段M5と、該禁止ジャンル指定手段M5によって指定された禁止ジャンルについては、上記再生ジャンル決定手段M3における再生ジャンルとしての決定を禁止するロック手段M6とを備えたことを特徴とする映像再生装置である。

【0008】請求項2に記載の発明は、上記請求項1に記載の映像再生装置において、上記ロック手段M6は、上記禁止ジャンル指定手段M5によって指定された禁止ジャンルであるか否かの情報を、ジャンル毎に記憶しておく禁止ジャンル情報記憶手段を備え、その禁止ジャンル情報に基づき、禁止ジャンルである場合には、上記再生ジャンル決定のための選択候補から除外することを特徴とする。

【0009】請求項3に記載の発明は、中央制御装置と複数の映像再生端末装置とが伝送回線にて接続され、上記各映像再生端末装置は、上記中央制御装置に対して曲をリクエストするリクエスト手段と、上記中央制御装置から送信された映像を再生する映像再生手段とを備えることによって、上記各映像再生端末装置でリクエストに応じた所望の映像を再生可能な集中管理式の映像再生装置において、上記各映像再生端末装置は、再生を禁止するジャンルを指定するための禁止ジャンル指定手段と、該禁止ジャンル指定手段によって指定された禁止ジャンル情報を上記中央制御装置側に送信する禁止ジャンル情報送信手段とを備え、上記中央制御装置は、曲毎に対応して設定された1つ以上のジャンルを記憶しておく対応ジャンル記憶手段と、上記禁止ジャンル情報送信手段によって送信された禁止ジャンル情報を各映像再生端末装置に対応して記憶しておく禁止ジャンル情報記憶手段と、上記対応ジャンル記憶手段に記憶されているジャンル情報及び上記禁止ジャンル情報記憶手段に記憶された禁止ジャンル情報に基づき、禁止ジャンルでない選択候補の中から上記リクエストされた曲に対応する再生ジャンルを決定する再生ジャンル決定手段と、該決定された再生ジャンルの映像データを、上記リクエストのあった

映像再生端末装置に送信する送信手段とを備えたことを特徴とする映像再生装置である。

【0010】

【作用】上記のように構成された請求項1に記載の映像再生装置によれば、対応ジャンル記憶手段M2が曲毎に対応して設定された1つ以上のジャンルを記憶しており、再生ジャンル決定手段M3が、この対応ジャンル記憶手段M2に記憶されているジャンル情報に基づき、選択された曲に対応する再生ジャンルを決定する。そして、再生制御手段M4が、再生ジャンル決定手段M3によって決定された再生ジャンルによる映像再生を映像再生手段M1に指令する。

【0011】このような基本動作を行う映像再生装置において、禁止ジャンル指定手段M5によって再生を禁止するジャンルを指定すると、その禁止ジャンルについては、ロック手段M6によって再生ジャンル決定手段M3における再生ジャンルとしての決定が禁止される。従って、再生ジャンル決定手段M3は、この禁止ジャンル以外で、選択曲に対応する再生ジャンルを決定するため、その禁止ジャンルの映像は再生されることがない。

【0012】例えば、演歌の複数のジャンルの内で「別れ」をテーマしたジャンルのものや同じくポップスの複数のジャンルの内で「別れ」をテーマしたジャンルのものを禁止ジャンルとして指定すれば、本来ならその「別れ」の内容の映像も表示されてしまう曲を選んだとしても、それらの映像は表示されない。従って、例えば結婚パーティにおいて「別れ」の内容の映像が出てしまうとその場の雰囲気が悪く壊れてしまうと考え場合には、禁止ジャンルとして指定すればよいのである。

【0013】あるいは、子供が一緒にいるような場では、演歌やポップスの複数のジャンルの内で、いわゆる「アダルト映像」が設定されているジャンルについては同じく禁止ジャンルに設定することで、それらの映像を表示させないようにすることができる。

【0014】上記したロック手段M6によるロックの掛け方としては、請求項2に記載のように、ロック手段M6の備える禁止ジャンル情報記憶手段が、禁止ジャンル指定手段M5によって指定された禁止ジャンルであるか否かの情報を、ジャンル毎に記憶しておき、その禁止ジャンル情報に基づき、禁止ジャンルである場合には、再生ジャンル決定のための選択候補から除外することが考えられる。

【0015】また、請求項3に記載の映像再生装置は、集中管理式の映像再生装置であり、中央制御装置と伝送回線にて接続された各映像再生端末装置は、リクエスト手段によって中央制御装置に対して曲をリクエストし、そのリクエストに応じて中央制御装置から送信された映像を映像再生手段によって再生することができる。

【0016】この際、各映像再生端末装置においては、禁止ジャンル指定手段によって再生を禁止するジャンル

を指定すると、禁止ジャンル情報送信手段が、その指定された禁止ジャンル情報を中央制御装置側に送信する。一方、中央制御装置の対応ジャンル記憶手段は、曲毎に対応して設定された1つ以上のジャンルを記憶しており、禁止ジャンル情報記憶手段は、上記禁止ジャンル情報送信手段によって送信された禁止ジャンル情報を各映像再生端末装置に対応して記憶しておく。そして、再生ジャンル決定手段が、対応ジャンル記憶手段に記憶されているジャンル情報及び禁止ジャンル情報記憶手段に記憶された禁止ジャンル情報に基づき、禁止ジャンルでない選択候補の中からリクエストされた曲に対応する再生ジャンルを決定し、送信手段が、この決定された再生ジャンルの映像データを、リクエストのあった映像再生端末装置に送信する。

【0017】このように、中央制御装置と映像再生端末装置とを伝送回線にて接続した集中管理式の場合には、中央制御装置側において禁止ジャンルであるか否かの判断をし、禁止ジャンルでない選択候補の中からリクエストされた曲に対応する再生ジャンルを決定して端末装置側に送信することが考えられる。この場合には、各端末装置側において禁止ジャンルであるか否かの判断をせず、単にリクエストを中央制御装置側に上げるだけで良い。

【0018】なお、端末装置側において禁止ジャンルか否かを判断し、禁止ジャンルの場合には、中央制御装置側にリクエストを送信しないようにすることも考えられる。また、このような集中管理式の場合には、その端末装置の配設先の状況に応じて中央制御装置側で予め禁止ジャンルを設定しておくことも有効な措置である。例えば、上述した結婚パーティ会場専用の場所等に設置される端末装置については予め「別れ」をテーマにしたジャンルの映像を禁止ジャンルに設定しておくことで、端末装置側ではいちいち禁止ジャンルの設定を気にすることなく使用することができるようになるという点で好ましい。

【0019】

【実施例】以下、本発明の映像再生装置を適用した一実施例として、センター（中央制御装置）と多数のカラオケ端末装置とを伝送回線にて接続したカラオケシステムの例を説明する。

【0020】ここで、図2はシステム全体の概略構成及びセンターの構成を示すブロック図、図3はカラオケ端末装置側の構成を示すブロック図である。図2に示すように、本カラオケシステム1は、センター3と複数のカラオケ端末装置5（以後端末装置5と記す）とが、同軸ケーブル7によって接続されて構成されている。ここで端末装置5は、別々の建物の中に分かれて設けられてもよく、あるいは一つの建物の中の個々の店舗またはボックスごとに設けられてもよい。

【0021】次に、センター3の構成を図2等に基づい

て説明する。センター3は、全体の制御を行うサーバー（制御部）11、カラオケデータを記憶した記憶装置13、センターモデム15、背景映像出力装置17a、17b、BS（衛星放送）受信システム19、ヘッドエンド21等を備えている。

【0022】サーバー11は、周知のCPU23、ROM25、RAM27等を備え、バスライン29を介して、記憶装置13、入出力インターフェース（I/O）31、背景映像出力装置（VDP）17a、17b等と接続されている。一方、記憶装置13には、ハードディスクや光磁気ディスクなどの大容量の記憶装置が用いられており、数千曲程度のカラオケデータが記憶されている。

【0023】ここで、カラオケデータは、同期信号、曲番号を示す曲番号データ、演奏データ、1曲分のデータの終了（区切り）を示すデータ等から構成されている。演奏データは、伴奏音楽のデータであるMIDI規格のデータや、端末装置5のモニターテレビに映し出される歌詞データなどを含んでいる。

【0024】センターモデム15は、記憶装置13から読み出されるカラオケデータや、サーバー11より出力されるモードセンスポーリング信号及びリクエストポーリング信号などを、所定の同一チャンネル（即ち所定の周波数帯域）の交流信号に変調して、ヘッドエンド21に出力するものである。ここで、モードセンスポーリング信号とは後述する端末装置5の動作モードを確認する信号である。また、リクエストポーリング信号とは端末装置5にカラオケデータの送信要求が有るか否かを確認する信号である。

【0025】背景映像出力装置（ビデオディスクプレーヤ）17a、17bは、後述するカラオケ端末装置5のモニターテレビに映し出される背景映像情報を出力するものであり、本実施例では、演歌とポップスの2大分類だけでなく、それぞれがまた細かくジャンル分けされている。演歌について具体的に説明すると、演歌「別れ」、演歌「アダルト」、演歌「冬の風景」、演歌「秋の風景」といったようにジャンル分けされている。ポップスについても同様なジャンル分けがなされている。

【0026】そして、この背景映像出力装置17a、17bは、各々変調器33に接続されており、画像データ（標準のNTSC方式のビデオ信号）が変調器33によって各々異なったチャンネルの周波数帯域に変換され、交流信号がヘッドエンド21に出力される。本実施例では図6（B）に示すように、演歌「別れ」、演歌「アダルト」、演歌「冬の風景」、演歌「秋の風景」がそれぞれ1チャンネル～4チャンネルに設定されている。

【0027】また、BS受信システム19は、受信用のアンテナ35、BS用チューナー37及び変調器39を備え、変調器39はヘッドエンド21に接続されている。ヘッドエンド21は、同軸ケーブルに信号を送出す

るミキサーなどの各種装置（図示せず）が備えられている。このヘッドエンド21には、上述のセンターモデム15から送られるカラオケデータの変調信号、モードセンスポーリング信号及びリクエストポーリング信号、背景映像出力装置17a、17bからの背景映像信号、及びBS受信システム19からのBS放送信号が入力され、これらのチャンネルの異なる複数の信号が多重化されて同軸ケーブル7に出力され、各端末装置5に送信される。

【0028】続いて、端末装置5の構成を図3に基づいて説明する。端末装置5は、全体の制御を行う制御部41、入力装置43、音源45、アンプ47、スピーカ49、映像合成回路51、モニタテレビ53、センター3からの信号を受信して処理する端末モデム57及びビデオチューナー59等を備えている。

【0029】制御部41は、CPU61、ROM63、RAM65などを備え、バスライン67を介して、入力装置43、音源45、入出力インターフェース69、映像合成回路51等と接続されている。入力装置43は、利用者が端末を操作するための各種キースイッチを備えるものであり、リクエスト曲の曲番号などを入力するテンキー43a、各種動作モードを選択するモードキー43b、電源のオン・オフを行う電源スイッチ43c、後述するロック指定処理に入るためのロックキー43d、確定キー43e等を備えている。ここで、端末装置5の動作モードには、センター3から送信されるカラオケデータを受信してカラオケ演奏を行う「カラオケモード」や、センター3からのBS放送信号を受信してBS放送を見る「BSモード」などの複数のモードがある。なお、本端末装置5においては、所定曲までは予約でき、入力装置43によって入力されたリクエストはRAM65の予約テーブルに記憶される。

【0030】また、このRAM65には、後述するロック設定テーブル（図6（B）参照）や曲番号－ジャンルテーブル（図6（C）参照）も記憶されている。音源（シンセサイザー音源）45は、カラオケデータに含まれるMIDIデータをアナログのカラオケ伴奏音声信号に変換するものであり、この音声信号はアンプ47に入力される。アンプ47は、このカラオケ伴奏音声信号と、歌い手によるマイクロフォン71からの歌唱音声信号とをミキシングして増幅し、スピーカ49に出力する。

【0031】映像合成回路51は、カラオケデータに含まれる歌詞データを歌詞映像信号に変換するとともに、これをビデオチューナー59から入力される背景映像信号と合成（スーパーインポーズ）し、モニタテレビ53へ出力する。端末モデム57は、同軸ケーブル7を介してセンター3から送信されるカラオケデータ信号、モードセンスポーリング信号、リクエストポーリング信号などを受信して復調するとともに、制御部41より出力さ

れるモードレスポンス信号やリクエストレスポンス信号などを変調して、センター3に送信するものである。ここで、モードレスポンス信号とは、センター3からのモードセンスポーリング信号に応じて、現在の自己の動作モードをセンター3に回答するための信号である。また、リクエストポーリング信号とは、同じくセンター3からのリクエストポーリング信号に応じて、曲のリクエスト（即ちカラオケデータの送信要求）が有るか否かをセンターに回答するための信号である。

【0032】ビデオチューナー59は、同じくセンター3の背景映像出力装置17a、17bから出力される背景映像信号及びBS受信システムからのBS放送信号を受信し、所望の映像信号を得るべくチャンネル選択をするものである。つまり、上述の入力装置43のモードキー43bによって、動作モードとして上述の「カラオケモード」が指定されれば背景映像信号のチャンネルが選択され、「BSモード」が指定されればBS放送信号のチャンネルが選択される。

【0033】次に、カラオケ端末装置5における作動について説明する。まずメインの処理を図4のフローチャートを参照して説明する。まず、予約曲があるか否かを判断する（ステップ100：以下ステップをSと略記する）。これは、制御部41のRAM65の予約テーブルに予約曲が記憶されているかどうかで判断する。そして、予約曲がある場合には、演奏処理を行って（S400）、S100に戻る。一方、予約曲がない場合には、ロックか否かを判断する（S200）。これは、入力装置43のロックキー43d（図3参照）が押下されているか否かで判断する。ロックキー43dが押下されていない場合には、そのままS100へ戻り、押下されている場合には、ロック指定処理（S300）を行ってからS100へ戻る。

【0034】次に、このロック指定処理（S300）について図5を参照して説明する。ロック指定処理が開始されるとまず、モニタテレビ53にメニュー表示をする（S310）。このメニュー画面を図6（A）に示す。設定されている全ジャンルの番号及びその内容が表示される。同時に、背景画に使用しないジャンルの選択を促す文章を表示する。

【0035】そして、キー入力があったかどうかを判断し（S320）、あった場合には（S320：YES）、そのキー入力確定を指令するものか否かを判断し（S330）、確定の場合にはそのまま終了する。この終了か否かの判断は、確定キー43eが押された否かで判断する。

【0036】そして、終了で無い場合には、その押されたキーナンバーに対応する番号のジャンルのついて、ロック設定テーブル（図6（B）参照）中の状態欄をロックに設定し（S340）、S320に戻ってS320以下の処理を繰り返す。例えば、①（演歌「別れ」）と②

(演歌「アダルト」)のジャンルについてロックしたい場合には、それらを指定した後で、確定キー43e(図3参照)を押下すると、S330で肯定判断となり、ジャンル①と②がロック状態に設定されて終了する。図6(B)はその設定後の状態を示している。

【0037】次に、図4におけるS400の演奏処理について図7を参照して説明する。まず、曲番号を取得して(S410)、センター3にその曲番号に対応する曲データの送信を要求する(S420)。そして、センター3側から送られてきた曲データを取得した後、背景画指定処理を行う(S440)。この背景画指定処理については後述する。

【0038】続いて、取得した曲データに基づいて演奏データ及び歌詞データをメモリにセットし(S450)、演奏を開始する(S460)。この演奏処理について説明すると、RAM65に一旦格納されたカラオケデータを読み出し、歌詞データを映像合成回路51に入力して歌詞映像信号に変換する。また、映像合成回路51には、ビデオチューナー59によってチャンネル選択された背景映像信号も入力される。そして、これらの背景映像情報と歌詞映像信号とが映像合成回路51にて合成(スーパーインポーズ)され、モニタテレビ53には背景映像の上に歌詞の文字列が重ね合わされて表示される。

【0039】一方、読み出されたカラオケデータに含まれるMIDIデータは、音源45にて伴奏音声信号に変換されてアンプ47に入力される。この伴奏音声信号は、歌い手によるマイクロフォン71からの歌唱音声信号とミキシングされ、適宜増幅されてスピーカ49より出力される。

【0040】そして演奏が終了したら(S470:YES)本処理を終了する。次に上記S440の背景画指定処理について、図8を参照して説明する。まず、曲データに基づいてその曲データのジャンルを取り出し(S441)、その候補ジャンルの中から適当にジャンルを選択する(S443)。曲データのジャンルは、図6

(C)に示すように、曲番号-ジャンルテーブルに記憶されている。例えば曲番号1のものについては、ジャンル①、③、⑤の3つが曲内容に適合するものとして設定されている。そこで、S443ではその3つのジャンル①、③、⑤の中から適当に選択する。

【0041】そして、ロック指定ジャンルであるか否かを判断する(S445)。例えば、S443でジャンル①が選択された場合には、図6(B)のロック設定テーブルを参照すると、ロック状態に設定されているため、S445で肯定判断となり、再度S443に戻って選択し直す。そして今度はジャンル③が選択された場合には、図6(B)のロック設定テーブルを参照すると、ロック状態でない(「OK」に設定されている)ため、S445で否定判断となり、S447に進んで、その選択

されたジャンル(この場合③)に対応するチャンネルに設定する。

【0042】このように、曲に対応して設定されているジャンルであっても、ロック状態に設定されているものについては、背景画として選択しないため、例えば上記例の場合には、「別れ」と「アダルト」のジャンルがロックされているため、例えば結婚パーティにおいて「別れ」の内容の映像が出てしまうことを防止できる。また、子供が一緒にいるような場で、「アダルト」の映像を表示させないようにすることができる。

【0043】なお、上記S443における選択では、一度S445でロック指定ジャンルであると判断されたものについては再度S443で選択する際の候補から除外するような処理にするとよい。このように、本実施例のカラオケシステム1においては、再生を禁止したい映像のジャンルを指定すると、その禁止ジャンルについては、再生されないようにすることができる。例えば、演歌の複数のジャンルの内で「別れ」をテーマしたジャンルのものや同じくポップスの複数のジャンルの内で「別れ」をテーマしたジャンルのものを禁止ジャンルとして指定すれば、本来ならその「別れ」の内容の映像も表示されてしまう曲を選んだとしても、それらの映像は表示されない。従って、例えば結婚パーティにおいて「別れ」の内容の映像が出てしまうとその場の雰囲気が壊れてしまうと考える場合には、禁止ジャンルとして指定すればよいのである。あるいは、子供が一緒にいるような場では、演歌やポップスの複数のジャンルの内で、いわゆる「アダルト映像」が設定されているジャンルについては同じく禁止ジャンルに設定することで、それらの映像を表示させないようにすることができる。

【0044】このように、設定されているジャンルの内でも再生を禁止することができるようにし、使用者の要求にあった映像だけを再生することができるのである。以上実施例について説明したが、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、種々の態様で実施し得る。

【0045】例えば、上記実施例では、センター3と端末装置5とを同軸ケーブルで接続したいわゆる集中管理式のカラオケシステムで説明したが、単独のカラオケ装置、つまり映像再生ディスク等を自らが備え、曲に対応する背景映像をそのディスクから読み出して再生するようなタイプのものにおいても同様に適用可能である。また、上記実施例の場合は集中管理式で端末装置5側においてロックされたジャンルであるか否かを判断していたが、例えば端末装置5の配設先の状況に応じてセンター3側で予めロックするジャンルを設定しておくことも有効である。例えば、上述した結婚パーティ会場専用の場所等に設置される端末装置5については予め「別れ」をテーマにしたジャンルの映像をロック状態に設定しておくことで、端末装置5側ではいちいち再生を禁止したいジャンルの設定を気にすることなく使用することができ

るようになるという点で好ましい。

【0046】なお、本発明は上記カラオケシステムに限らず、BGVとして映像だけを流す場合であっても、同様に適用できる。

【0047】

【発明の効果】以上詳述したように、本発明の映像再生装置によれば、設定されているジャンルの内でも再生を禁止することができる。例えば結婚パーティにおいて

「別れ」の内容の映像が出てしまうとその場の雰囲気が壊れてしまうと考える場合には、禁止ジャンルとして指定すれば表示されなくなる。あるいは、子供が一緒にいるような場では、演歌やポップスの複数のジャンルの内で、いわゆる「アダルト映像」が設定されているジャンルのについては同じく禁止ジャンルに設定することで、それらの映像を表示させないようにすることができる。このように、使用者の要求にあった映像だけを再生することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の基本的構成を例示する概略構成図である。

【図2】 本実施例のカラオケシステム全体の概略構成及びセンターの構成を示すブロック図である。

【図3】 本実施例のカラオケ端末装置の構成を示すブロック図である。

【図4】 本実施例のカラオケ端末装置におけるメイン

処理を示すフローチャートである。

【図5】 本実施例のカラオケ端末装置におけるロック指定処理を示すフローチャートである。

【図6】 (A)はロック指定処理におけるメニュー画面を示す説明図、(B)はロック設定テーブルを示す説明図、(C)は曲番号-ジャンルテーブルを示す説明図である。

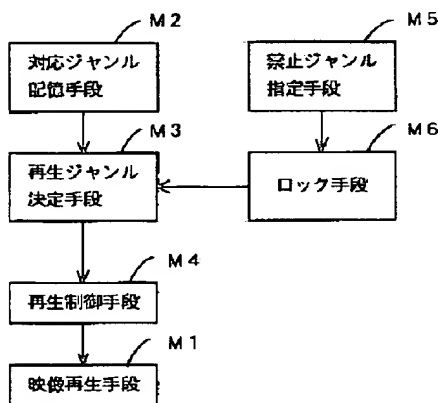
【図7】 本実施例のカラオケ端末装置における演奏処理を示すフローチャートである。

10 【図8】 本実施例のカラオケ端末装置における背景画指定処理を示すフローチャートである。

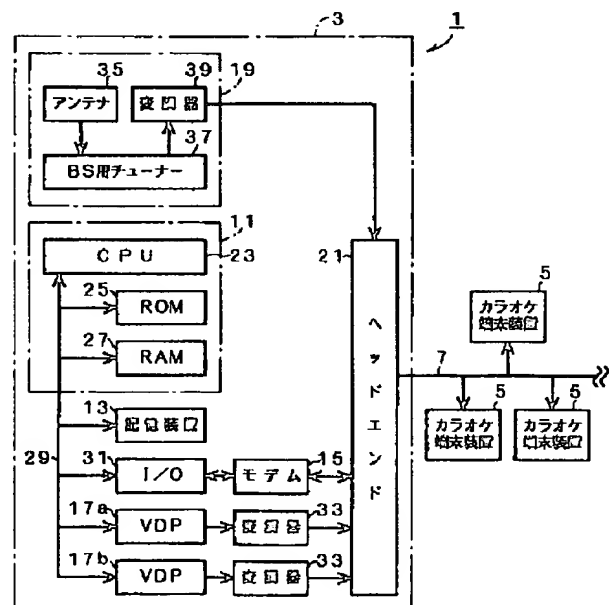
【符号の説明】

M1…映像再生手段、 M2…対応ジャンル記憶手段、 M3…再生ジャンル決定手段、 M4…再生制御手段、 M5…禁止ジャンル指定手段、 M6…ロック手段、 1…カラオケシステム、 3…センター、 5…カラオケ端末装置、 7…同軸ケーブル、 11…サーバー、 13…記憶装置、 17a…背景映像出力装置、 19…BS受信システム、 33、39…変調器、 41…制御部、 43…入力装置、 43a…テンキー、 43b…モードキー、 43c…電源スイッチ、 43d…ロックキー、 43e…確定キー、 51…映像合成回路、 53…モニタテレビ、 59…ビデオチューナー

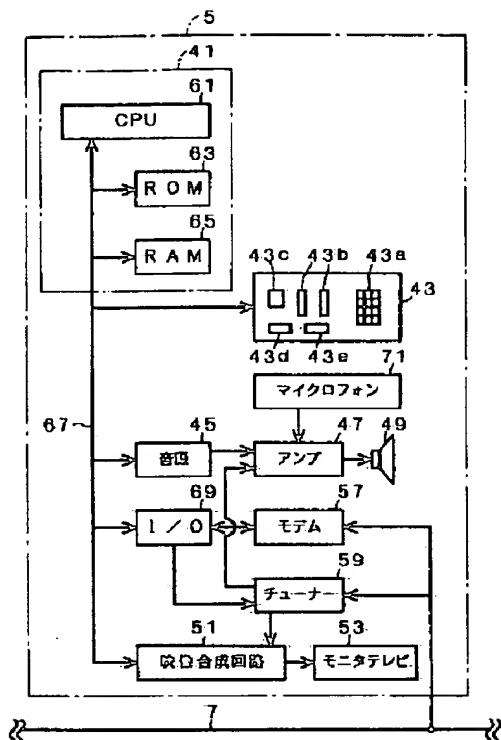
【図1】



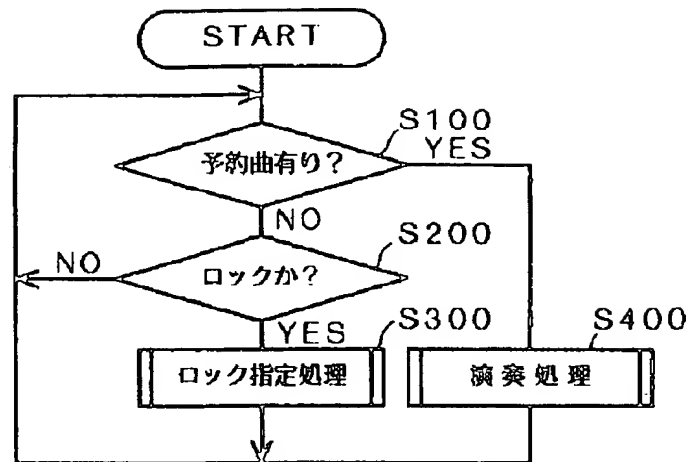
【図2】



【図3】



【図4】

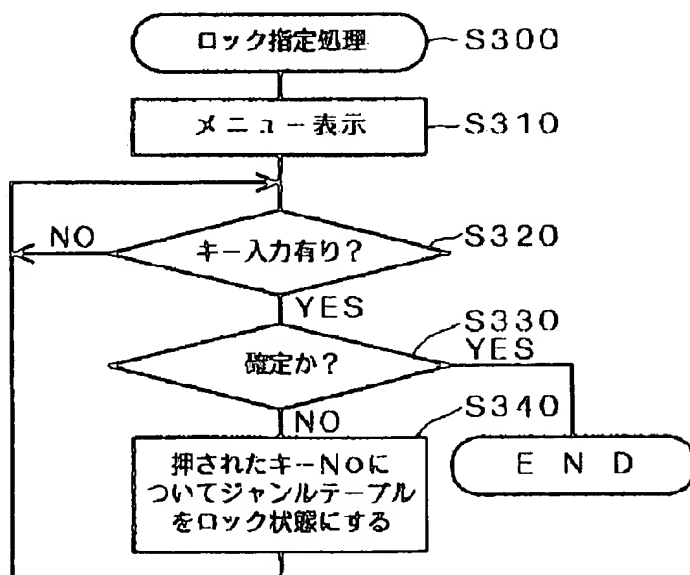


【図6】

(A)

* 背景画に使用しないジャンルを選択して下さい	
① 〈演歌「別れ」〉	⑤ -----
② 〈演歌「アダルト」〉	⑦ -----
③ 〈演歌「冬の風景」〉	⑧ -----
④ 〈演歌「秋の風景」〉	⑨ -----
⑤ -----	⑩ -----
→ 選択したら確定キーを押して下さい	

【図5】



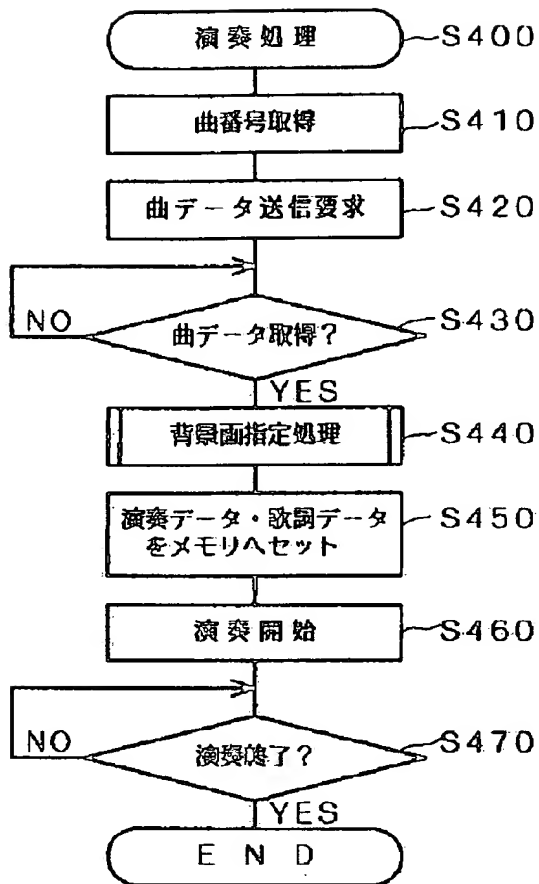
(B)

ジャンル	状態	映像CH
① 〈演歌「別れ」〉	ロック	1
② 〈演歌「アダルト」〉	ロック	2
③ 〈演歌「冬の風景」〉	OK	3
④ 〈演歌「秋の風景」〉	OK	4
⋮	⋮	⋮

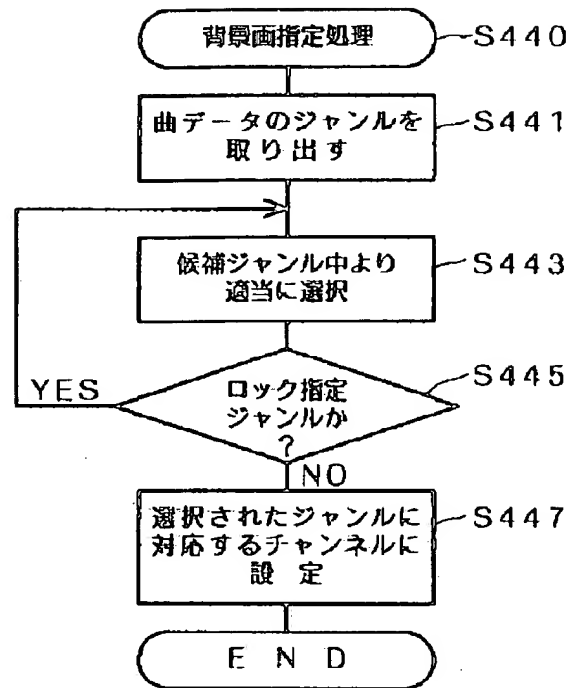
(C)

曲番号	ジャンル番号
1	①, ③, ⑤
2	③, ④
3	②, ④, ⑤
⋮	⋮

【図 7】



【図 8】



フロントページの続き

(72)発明者 伊神 和典
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 プ
ラザー工業株式会社内

(72)発明者 長谷川 幸江
愛知県名古屋市昭和区桜山町6丁目104番
地 株式会社エクシング内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☒ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.